

第35回民族藝術学会大会プログラム

4 月 20 日 (土)	11:30～13:00	理事会・評議員会[理事・評議員のみ]	飯田市美術博物館会議室
	12:30～	受付開始	飯田市美術博物館受付
	13:30～	開会挨拶	民族藝術学会会長 吉田憲司
		ご挨拶	飯田市長
	13:45～17:20	シンポジウム「民族藝術と『地域』」	飯田市美術博物館講堂
	13:45～14:30	基調講演	櫻井弘人(飯田市美術博物館専門研究員)
	14:30～14:45	休憩(15分)	
	14:45～15:15	報告1:「地域とのつながりから学ぶー藤布制作と講義集の編集を通してー」	青木千恵美(飯田女子短大)
	15:15～15:45	報告2:「鬼の地域性再考ー奥三河、花祭の継承をめぐる地域協働の過程からー」	佐々木重洋(名古屋大学)
	15:45～16:15	報告3:「モノと地域性ー創作玩具・農民美術・新作民芸、それぞれの実践からー」	濱田琢司(南山大学、地域文化)
16:15～16:30	休憩(15分)		
16:30～17:20	全体討議		
17:20～17:30	休憩(10分)		
17:30～18:00	総会		
18:00～18:10	第16回木村重信民族藝術学会賞授賞式		
18:45～20:45	懇親会	シルクホテル	
4 月 21 日 (日)	8:30～	受付開始	飯田市美術博物館受付
	9:00～11:00	一般発表	飯田市美術博物館講堂
	9:00～9:30	「19世紀における美術記録写真の再考 ー『ミッション・エリオグラフィックをはじめとする1850年代フランスの記録写真計画を中心に』ー」	久野はるな(美術)
	9:30～10:00	「現代アーティストによる『リサーチ型』プロジェクト」	畑井恵(芸術学)
	10:00～10:30	「近代立体有線七宝と梶常吉ー七宝起原『碑』を巡ってー」	内藤秀幸(陶芸)
	10:30～11:00	「戦後沖縄陶器の変遷と『本土』からの眼差し ー近現代沖縄文化論および観光政策との関わりー」	富依美音(陶芸)
	11:00～11:10	休憩(10分)	
	11:10～12:40	一般発表	
	11:10～11:40	「『書斎』に集まった人びとー柳田國男、有賀喜左衛門、岡正雄を中心としてー」	阿久津昌三(民俗学)
	11:40～12:10	「昭和初期における長崎の座敷唄『ぶらぶら節』と西条八十の接点 ー『民謡の旅』の記事を中心にー」	安原道子(音楽学)
12:10～12:40	「ヨアヒム・ラフ作曲、《チューリンゲン組曲》WoO.45(1877)における民謡旋律について」	倉脇雅子(音楽学)	
12:40～12:45	閉会の辞	大会実行委員長 永原恵三	